

NEWSLETTER

インド・ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト (TCP)

プロジェクト発足の経緯



2013年に大水害を経験したウッタラカンド州は、山岳地帯における山腹崩壊対策のための技術協力を国際協力機構(JICA)に要請し、2016年8月29日にウッタラカンド州首相ハリシュ・ラワット氏の立ち会いの下、JICA *1インド事務所長、ウッタラカンド州首席次官補によりプロジェクトが合意され、2017年3月26日に本プロジェクトが開始されました。



上位目標

- ウッタラカンド州の山岳地帯における斜面对策事業が適切に実施される。
- 治山に関する知識と技術がヒマラヤ周辺の州へ広められる。

第1回合同調整会議開催



デリーで開催された合同調整会議（JCC）の様子

2017年8月11日

第1回 合同調整会議（Joint Coordinating Committee, JCC）が2017年8月11日、ウッタラカンド州のラムズワミイ首席次官を議長としてデリーにて開催されました。

会議ではプロジェクトダイレクターがプロジェクトの概要を説明し、参加者はプロジェクトの今後の予定について話し合いました。治山工事がプロジェクトにより実施される3箇所のモデルサイトも議題に上げられ、**Nirgad**（ニルガード）、**Jawadi**（ジャワディ）、**Padli**（パドリ）がモデルサイトとして承認されました。

プロジェクトの期間

5年間

2017年3月26日から

2022年3月25日まで

プロジェクト・メンバー

(インド側)

- プロジェクト・ディレクター、副プロジェクト・ディレクター
- タスクチーム・メンバー (UKFD^{*2} 職員)
- エンジニア・チーム (UFRMP^{*3})
- モデルサイトのある地区の UKFD^{*2}職員
- その他関係する人々

(日本側)

- 長期専門家
- 短期専門家

どのように技術移転を行うのか

- オンサイト・トレーニング

タスクチームのメンバーとエンジニアはモデルサイトでの治山事業の実施を通じて日本の専門家から技術と知識を習得します。

- オフサイト・トレーニング

プロジェクト期間中、3回の実務的な研修が日本で行われます。

- ガイドライン

治山事業のガイドラインが設定されます

- その他のプロジェクトの最終目標の達成に必要な活動

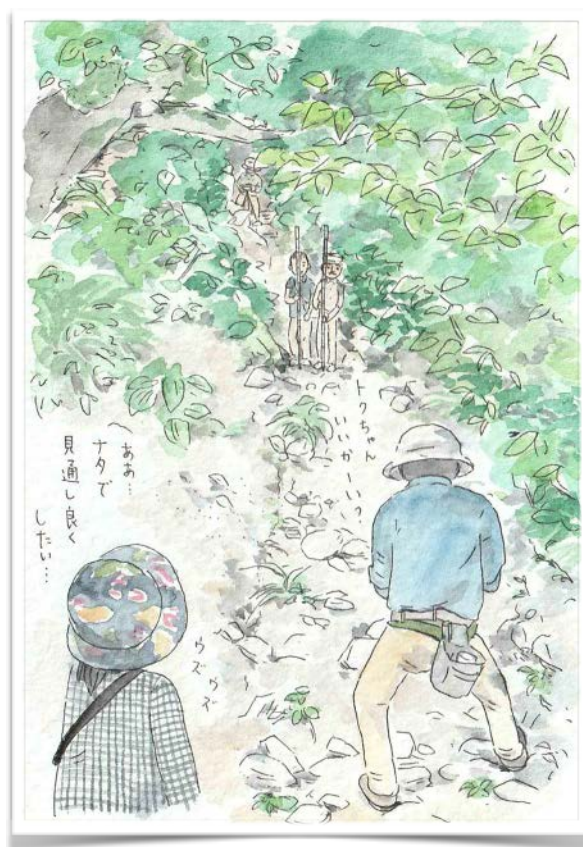
エンジニアチームがプロジェクトに加わりました

2017年9月5日

UFRMP^{*3}で雇用されたエンジニア4名がプロジェクトに合流しました。メンバーは以下の方々です。

- チーフ・エンジニア（1名）
- 計画/積算/調達エンジニア（1名）
- フィールド・エンジニア（2名）

エンジニア達は早速、日本人専門家と共にモデルサイトでの調査を行なっています。



ニルガードで調査が進んでいます。

地味な作業が大きな仕事の基礎になります。

^{*1}JICA: 独立行政法人 国際協力機構

^{*2}UKFD: ウッタラカンド州森林局

^{*3}UFRMP: ウッタラカンド州森林資源管理事業
(ウッタラカンド州で実施されている円借款事業)